

## RPA メーカー国内最大のイベント 「BizRobo! LAND 2019 TOKYO」を開催、来場者数 3,100 名超 ～ 「BizRobo!」 ユーザー企業数 1,560 社突破～

RPA ホールディングス株式会社（本社:東京都港区 代表取締役:高橋 知道、以下「RPA ホールディングス」）子会社で、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）/Digital Labor（仮想的労働者）のベーステクノロジーを提供する RPA テクノロジーズ株式会社（本社：東京都港区赤坂、代表取締役執行役員社長：大角 暢之、以下「RPA テクノロジーズ」）は、2019年9月18日（水）に RPA メーカー単独開催で国内最大イベントとなる「BizRobo! LAND 2019」（於：ザ・プリンス パークタワー東京）を開催し、3,100 名超の方々にご参加いただきましたので、ご報告いたします。

本イベントでは、「BizRobo! 2.0」の最新製品ロードマップや、各業界におけるユーザー企業様が登壇し、「不毛な RPA の取り組みからの脱却」、「現場の完全な自立自走を実現」や「圧倒的な全社全拠点への展開」などをテーマとした Next RPA を提示する講演を多数実施いたしました。

### ■代表取締役執行役員社長 大角 暢之による「BizRobo!2.0」の世界に関する発表内容

BizRobo! LAND 2019 TOKYO 開催に至り、パートナー企業様をはじめとするこれまでの皆様のご支援、ご高配に改めまして心より感謝申し上げます。

RPA は、2016 年頃より一躍脚光を浴び、国内でも多くの RPA 製品が提供されるに至りました。このような市場の盛り上がりを受け、昨年の BizRobo! LAND では、2 日間で 3,000 名超の方々に参加いただきましたが、今年は 1 日で 3,104 名の多数の方々にご参加いただき国内メーカーとしては最大のイベントになりましたことを深く感謝申し上げます。

当社の現時点におけるユーザー企業数は、2019 年 1Q 終了時点で 1,560 社に拡大しており、単なるツールとしての RPA ではなく、RPA の大衆化及びデジタル労働者と現場の協働がより一層進んでいる実情を実感しております。一方で、企業様から寄せられる課題として、業務の例外処理や業務変更発生時に RPA の自走化・完全定着化に悩まれることで、経営における RPA の位置付けと将来シナリオが見えにくい構造に陥る企業様が増加しているのも現状です。

このような状況の中で、BizRobo!2.0 の新たなロードマップとして、RPA の「ダイナミックオペレーション」を提唱いたします。ダイナミックロボティックオペレーションでは、RPA が自発的に起動しプロセスを遂行するプラットフォーム機能を実装することにより、「BizRobo!」導入拡大期において重要とされる、RPA の「現場増殖型」が実現できると考えております。RPA の自走化・完全定着化の解決ソリューションとして、現場と IT 部門が協働し、現場が自由に RPA ツールの開発を行い、IT 部門は運営として現場開発を支援、現場が品質担保できるような仕組みの構築を目指しております。

RPA テクノロジーズでは引き続き、生産性改革に取り組まれる皆さまの継続的なデジタルトランスフォーメーションジャーニーを支援することをお約束致します。そのためのサービス開発の強化、支援体制の強化にも取り組んで参ります。

## 【会社概要】

### ■RPA テクノロジーズ株式会社について(<http://rpa-technologies.com/>)

- ・本社所在地：東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 13F
- ・設 立：2013年7月  
クライアント企業の新規事業に対する投資及びコンサルティングサービスを  
手掛けるオープンアソシエイツ株式会社(現:RPA ホールディングス株式会社、  
コード番号 6572 東証第一部)より、会社分割により 100%子会社として設立
- ・代 表 者：代表取締役執行役員社長 大角 暢之
- ・資 本 金：3,000 万円
- ・事 業 内 容：コンピュータ、その周辺機器およびそのソフトウェアの開発、設計、製造、販売  
ならびに輸出入業務/情報処理サービス業および、コンサルタント業務/  
情報提供サービス業/マーケティングリサーチおよび各種情報の収集分析